

施策①-2 地域間移動に関する検討、機能の改善

施策概要

山手幹線の渋滞対策に関する勉強会や地域間移動の利便性に関する検討会を実施します。渋滞の一因である大規模小売店舗に対して渋滞抑制の要請を行う等の渋滞によるバス遅延への対策や、乗り継ぎの円滑化と乗り継ぎ方法の周知、行政機能の充実策等を検討します。

実施主体	行政	交通事業者	地域住民	その他
	○	○	○	警察

実施時期	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	随時検討・実施					

取り組みの背景と内容

背景

- 南部地区では、大規模小売店舗が一因の山手幹線の渋滞により、路線バスに大幅な遅延が発生しているほか、渋滞を避けるため、路線バスの迂回運行や運行回数削減等を余儀なくされ、公共交通に大きな影響を与えています
- 南部地区では、隣接市の樟葉駅や松井山手駅を結ぶバス路線が充実しており、需要も多い状況ですが、市役所や石清水八幡宮など本市中心部への乗り換えなしでいけるバス路線がなく、住民からこれらをつなぐ「南北路線」の要望が挙げられています。一方、市役所周辺施設の利用頻度は低く、過去にも実証実験を行いました。需要は少ない結果でした。

内容

- 山手幹線の渋滞対策に関する勉強会や地域間移動の利便性に関する検討会を実施します。
- <山手幹線の渋滞対策>
 - 山手幹線の渋滞の一因である大規模小売店舗に対して渋滞抑制の要請を行います。
 - 道路管理者等の関係機関と連携し、渋滞緩和に向けた取り組みを行います。
- <地域間移動の利便性>
 - 南部地区から市役所周辺までの乗り継ぎを考慮したダイヤ、乗り継ぎ方法の周知、市役所周辺でイベント等がある際には、規模に応じた送迎バスの運行等を検討します。
 - 南部地区住民の利便性を高めるため地区内での行政機能の充実策等を検討します。



▲ 山手幹線の渋滞状況

期待される効果

- 路線バスの遅延の解消に寄与します。
- 勉強会を実施することで、住民の公共交通に対する意識醸成に寄与します。
- 乗り継ぎの利便性の向上に寄与します。